

エゾシカをおいしく食べて 北海道の自然を守ろう!

エゾシカのお肉には、わたしたちの体に欠か
せない栄養がたくさんふくまれているよ。
たとえば、体を大きくしてくれる「たんぱく質」。
そして、血をつくるもとになる「鉄」。特に「鉄」
は、ふだん食べているぶた肉やとり肉、牛肉
の何倍もの量がふくまれているんだ。エゾシ
カのお肉は最近、レストランのメニューになっ
ていたり、スーパーで売ってたり、給食に
出てくる学校もあったり、食べられる機会が
どんどん増えているよ。みんなも、おいしくて、
体にいいエゾシカのお肉をどんどん食べて、
北海道の自然を守っていこう!

エゾシカのお肉には、
わたしたちの血になる鉄がいっぱい!



エゾシカのお肉は、いろんな料理を楽しめるよ!



カレーライス



サンギ



ハンバーグ



スパゲッティ



毎月第4火曜日は「シカの日」。
みんなで月1回、エゾシカについて考えよう!

毎月第4火曜日は、4[シ]+火[カ]=シカで、「シカの日」です。この日、北海道ではエゾシカのお肉をたくさんの人に食べてもらえるよう活動しています。エゾシカ料理を食べられるお店や、エゾシカのお肉を売っているお店は、コック帽をかぶったシカのイラストが目印です! みんなも「シカの日」には、エゾシカ料理を食べたり、エゾシカのことを考えたりしてみよう!



北海道

発行:
北海道環境生活部環境局エゾシカ対策室
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL:011-204-5988

平成24年11月制作

ねえ、
みんな!

おいしく食べて、森を守ろう

エゾシカのこと 知ってる?

学ぼう! エゾシカ!

エゾシカ肉には
すごく
栄養が!

エゾシカと
森のことを
学ぼう!



シカについて考えよう!
毎月第4火曜日は
シカの日

エゾシカ肉って
おいしいんだよ!

北海道エゾシカ対策室



教えて！ エゾシカ先生

みんなは、“エゾシカ”という北海道のシカを知っているかな？
まずは、どんなシカなのか、いっしょに学んでみよう。



* エゾシカって、 どんなシカ？

エゾシカは、北海道だけにすんでいるシカだよ。日本にいるシカで一番大きくて、体重が150キロになるオスもいるんだ。さらに夏と冬では、毛の色がちがっていて、温かい夏は白い点々のもようがついた明るい茶色、雪がふる冬には灰色っぽい茶色に毛が生えかわるよ。

* オスとメスの ちがいは？

エゾシカのオスとメスは、ツノがあるかどうかで分かるよ。りっぱなツノを持っているのがオスだ。しっかりおぼえておこう。ちなみにツノは骨でできていて1年に1回、春ごろに抜けて新しく生えかわるようになっているんだ。

* エゾシカは いつから大人なの？

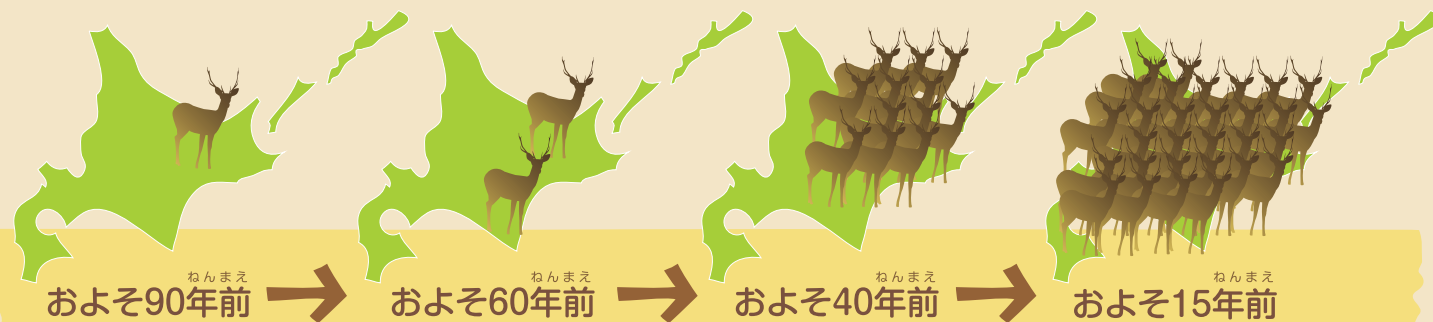
エゾシカが、赤ちゃんをつくりはめるのは1才になった秋から。たった1年半で大人になって、2才から赤ちゃんを毎年1頭ずつ生みつづけるよ。そのため、エゾシカは増えやすい動物でもあるんだ。



いま、エゾシカが 増えすぎて困っています。

エゾシカはその昔、たくさんつかまえたり、大雪がふって死んでしまったことで、一度は絶滅しそうになったんだ。だから国で守っていたんだけど、ここきてエゾシカの数が増えすぎて困ったことになっているんだ。

エゾシカが、どんどん増えているよ



およそ90年前(1925年)、およそ60年前(1954年)、およそ40年前(1974年)は「北海道庁資料」、およそ15年前(1997年[2002年補足調査])は「環境省自然環境局生物多様性センター資料」を元にイラスト化しています。



どうして急に増えたの？

エゾシカが急に増えたのにはいくつかの理由があるよ。

① 敵がいなくなった

エゾシカをおそうエゾオオカミが絶滅してしまい、エゾシカを食べる動物がいなくなってしまったんだ。

② エサが増えた

北海道開拓によって原生林が畑や植林地になり、木の芽や植物が好きなエゾシカの食べものが増えたんだ。

③ ハンターが減った

エゾシカをつかまえるハンターといわれる人たちが年老いて引退し、数が減っているんだ。



どんな問題が 起きているの？

大きな問題になっているのが、畑で大事に作った野菜や、森を育てようとして植えた木の芽をエゾシカが食べてしまうこと。それによって60億円を超えるお金が失われていて、さらにエゾシカは木の皮や、めずらしい植物も食べてしまうため、森が荒れて、自然のバランスがかわってしまうのではと心配されているんだ。また、増えすぎたことで、わたしたちがいる住宅地にもエゾシカがやってきたり、自動車や列車とぶつかる事故も増えているんだ。

わたしたちにできることは？

エゾシカの問題を解決するには、増えすぎた数を調整していくことが大事。実はエゾシカは、アイヌの人々にとってサケとならぶ貴重な食べものとして親しまれ、アイヌ語では獲物という意味の「ユク」と呼ばれていたんだ。さらに海外では、シカなどの野生の動物のお肉は「ジビエ」と呼ばれる高級食材。明治のころには、エゾシカ肉を缶詰にして海外に輸出していたこともあるんだ。エゾシカは、北海道にとっての“森の恵み”。わたしたちにできることは、エゾシカに感謝して、おいしくいただくこと。食べることが、自然を守ることに繋がっていくよ。

